

# 史跡小田原城跡御用米曲輪の植栽の取扱いについて

平成 29 年 8 月 26 日

## 1 概 要

平成 25 年度実施の植栽管理に続き、第 2 段階として平成 29 年度の御用米曲輪北東土塁の植栽管理を次のとおり実施します。

- (1) 蔵跡周辺にある遺構の保護と今後のクスノキの健全な生育及び緑による市街地との遮蔽<sup>しゃへい</sup>効果の確保のため、北東土塁上のクスノキのうち 16 本を残し、13 本を秋以降に伐採します。(図 1)
- (2) 残す 16 本のクスノキについては、今回は剪定しません。
- (3) 植栽管理作業は、隣接する高等学校の教育活動や周辺住民の生活に十分配慮し、細心の注意を払い現場作業を実施します。

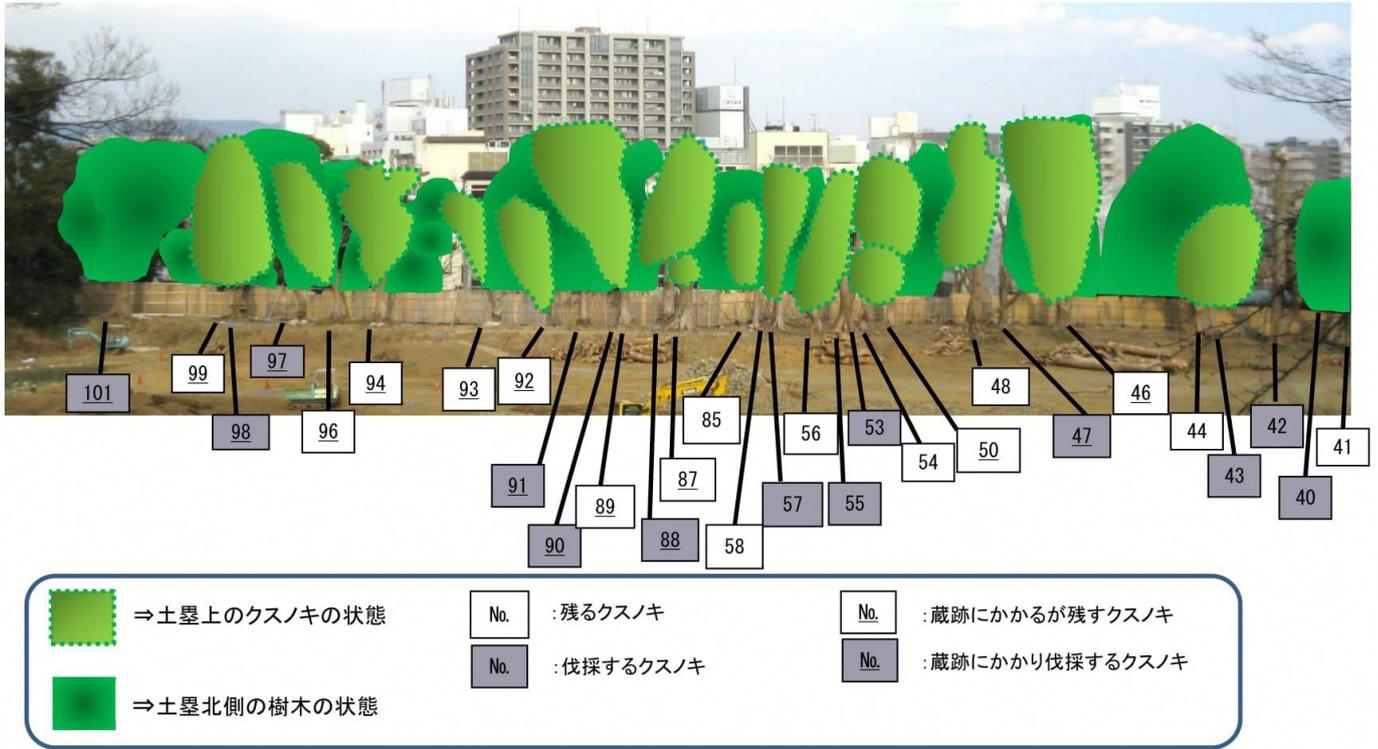
## 2 御用米曲輪北東土塁の景観図

- (1) 右ページ上段の図 1 は、今回実施するクスノキ 13 本を伐採した後に想定される景観のイメージです。
- (2) 最下段の写真 2 は、平成 25 年度の御用米曲輪の景観、クスノキの状況です。8 本の伐採など植栽管理作業終了後の冬の様子であり、土塁北側の裏面の落葉樹も葉を落としています。
- (3) 中段の写真 1 は、平成 29 年度春の御用米曲輪の景観、クスノキの状況です。下段の写真 2 の状況から順調に枝葉を伸ばしている姿が見てとれます。
- (4) このように写真 2 から写真 1 への変化の実績なども踏まえて、第 2 段階を実施しますが、この植栽管理については、市民の皆様などに広く御理解いただきながら、細心の注意を払って進めていきます。

# 御用米曲輪 北東土塁の景観図(想定:春～夏)

【図1】クスノキ伐採後に想定される景観

平成25年度冬季の北側法面の落葉樹の葉が落ち、最も遮蔽効果がない時点の写真に、現時点<平成29年度春季>の景観を簡易合成



【写真1】現時点の御用米曲輪の景観 平成29年度春季撮影



【写真2】平成25年度の御用米曲輪の景観 平成25年度冬季撮影

